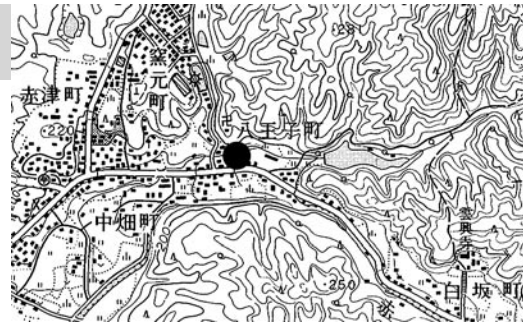


はちおうじ
八王子遺跡

所在地 瀬戸市八王子町地内
調査理由 東海環状自動車道建設
調査期間 平成 14 年 8 月～9 月
調査面積 100 m²
担当者 藤岡幹根・宇佐見守・永井宏幸



調査地点 (1/2.5 万「猿投山」)

調査の経過 調査は、東海環状自動車道建設にともなう事前調査として、国土交通省愛知国道工事事務所から愛知県教育委員会を通じた委託事業として実施した。遺跡の調査は平成 10 年度から継続して行われており、本年度は 00 A 区の西接する 100 m²である。

調査の概要 遺跡は赤津川と木下川によって形成された河岸段丘上の標高 197m 前後に立地する。木下川を挟んで北側には縄文時代から近代にいたる長谷口遺跡が隣接する。

今回の調査は、八王子遺跡の最終年度にあたる。調査区のほとんどが後世の削平により滅失していた。ただし、北東寄りの一部に縄文時代から中世の包含層を確認することができ、中世陶器・縄文土器などが出土した。遺構は検出されず、包含層が確認された調査区北側にある木下川に向かって、地形の傾斜が確認できた。なお、調査区南側は木下川の氾濫原と思われる砂礫層の堆積が下位に確認された。したがって、縄文時代以前には今回の調査区近くまで河道が広がっていた可能性が指摘できる。
(永井宏幸)



調査区全景



土層断面



導水管



作業風景